

「CO₂を出さない社会づくり」

2021年 7月25日 13:30～ 参加人数 約50名

2°Cの参加者6名：松本、脇谷、玉田、高山、花香、加藤



御沓稔弘審議監

大分県生活環境部御沓審議監の挨拶に始まり

大分県うつくし作戦推進課の宮澤課長より

「第5期地球温暖化対策実行計画」の講話

ゴールドマン環境省受賞された平田仁子氏より本日の基調講演

演題「カーボン・ニュートラルを目指す世界の最新動向～私たちはどう取り組むべきか～」



令和3年度

第5期大分県地球温暖化対策実行計画
(区域施策編)資料

うつくし作戦推進課



平田仁子さん

平田仁子（ひらたきみこ）さんプロフィール

NPO 法人 気候ネットワーク、国際ディレクター・理事。CAN-Japan 代表も兼務。1998年の団体設立当初より気候ネットワークに参加し、気候変動に関する国際交渉や国内の気候・エネルギー政策の研究や分析、政策提言などを行う。気候変動枠組条約交渉には20年以上関わり続けている。近年は、国内の石炭火力の拡大や国際的な石炭火力への融資問題の取り組みを進めている。共著『原発も温暖化もない未来をつくる』コモンズ。早稲田大学社会科学研究所博士課程修了。博士（社会科学）。

2021年ゴールドマン環境賞受賞。温暖化の大きな原因である石炭火力発電の建設13基中止させました。もしこれらの石炭火力発電所が建設されていれば、その寿命の間に16億トン以上の二酸化炭素(CO₂)を排出していたはずでした。

今日の話で気づいたことを報告します。

大分県にも石炭火力発電所があること、横須賀に新たな発電所が建設されている、その二酸化炭素排出量が、大分県の家庭部門の二酸化炭素排出量の5倍で何十年も二酸化炭素の排出を続けると知り、私たち家庭が一生懸命排出をゼロにできたとしても、火力発電所がある限り二酸化炭素は減らない。

それどころか日本では火力発電所を建設している、現実を改めて突き付けられました。

本当に環境後進国だと感じました。それでも脱炭素への歩みを止められない、あと10年！あと4年！



「わかっていたのに行動しなかった」とならないように

「2050年ネットゼロへの道すじ」
2030年・2040年の削減目標と政策提言

基本的な考え方

- (1) 科学に基づくこと — 1.5°C目標を達成するために必要な行動をとろう
- (2) 化石燃料依存から脱却しよう
- (3) 弱い立場にある人への支援と一体的に進めよう
- (4) 参加・対話・包摂を大切に、選びたい未来を実現しよう

KIKI NETWORK 気候ネットワーク

— 気候ネットワーク — 提言レポート —
2050年 ネットゼロへの道すじ
2030年・2040年の削減目標と政策提言

気候変動問題を、他人事から自分事へ

今、私たちが動かなければ、危険な気候変動は回避できない。
傍観せず、見過ごさず、先延ばしせず、他人任せにせず、**選
びたい未来を形にしよう**

✓ 市民としてできることを実行促進

- ・ 地域での取り組みの実践（再生可能エネルギー導入・省エネ）
- ・ 個人レベルの実践を超えた行動と支援・連携（意思表示・参加）

✓ 所属する主体において責任ある行動

- ・ 2030年半減・2050年ネットゼロの目標・計画化
- ・ 行動＝支援・要請・協力・連携・実践・資産運用・投資

✓ 国・自治体の政策・対策に明確な要請・実行

- ・ 気候危機対策の重点化（ゼロカーボンシティ：大分市・宇佐市）
- ・ 省エネ・再エネへの施策強化・支援
- ・ 地域経済移行対策の考案

24

最後になりましたがオンライン講座全3回の司会をA P U国際経営学
部3回生の富原宏樹さんをお願いしています。

富原さんはFFFおおいたの代表をしています。

FFF おおいたについて

FFF は Fridays For Future の略で、「未来の為
の金曜日」という意味です。

FFF のメンバーは日本のみならず世界で大活躍
しています。2018年に気候非常事態を解決するた
めにスウェーデンの女子高校生のグレータさんが
金曜日にスウェーデンの国会議事堂の前で、未来
のための金曜日を掲げ座り込みを始めました。
その行動に賛同した世界中の若者たちがストライ
キやデモ行進の行動を起こしています。現在、日
本では40もの地域がFFFを立ち上げ活動してお
りFFFおおいたでも様々な活動を行っています。

大分駅前や別府駅前や靴を並べ気候問題を訴え
るシューズアクションを実施したり、おおいたう
つくし感謝祭などのイベントに参加しブースでは
ピックアップスケートや廃油石鹼などを展示した
りしました。また、ごみ拾いイベントなどを開き
地域住民の方々と楽しく気候問題を解決しており
ます。



富原宏樹さん